

原発の「稼働/停止」は市民による直接投票で決めたい！

「原発」市民投票条例案が 大阪市議会で 否決されました。

2012年3月27日、大阪市民61,087筆(有効署名数55,428筆)の署名をもって直接請求された「原発」市民投票条例案は大阪市議会の本会議で否決されました。
本会議採決での各会派の態度表明は以下のとおりです。

会派	人数	議決 (市民投票の実施に対して)	議決理由/議決理由等について 尋ねた質問状への回答状況
維新の会	32 (欠席1)	反対	■会派として回答 市民投票には法的拘束力がない。5億円近い費用がかかる。公務員の政治活動に抵触する可能性がある。維新としてはすでに、株主提案による脱原発依存を目指している。
公明党	19	反対	■本会議で会派としての反対理由の表明なし。 会派ではなく個人で回答する。(回答返却は1人のみ：杉田忠裕氏) 投票結果が関電に法的影響力を及ぼさないのが残念である。原発の存在しない大阪市が4億7千万円の税金を使って行うことに反対。
自民党	17	賛成	私たちの案(原案)には反対だが修正案(※A)提出⇒否決(市民投票の実施には賛成) ■会派全員の連名で回答 11月の選挙で「脱原発依存」の民意を得たという橋下市長の判断には違和感を覚える。「原発」の是非を問う大切な問題に限っては、市民が真剣に考えた誰か任せではない市民の判断が知りたい。
OSAKAみらい(民主党系)	9	賛成	私たちの案(原案)には反対だが自民の修正案に乗る⇒否決(市民投票の実施には賛成) ■会派ではなく個人で回答する(回答返却は1人のみ：小林道弘氏) 原発のような生活に関わる大きな問題を市長一人や議会だけに任すのではなく、市民一人一人が考え、意見を述べることは賛成です。ただ、大阪市だけの問題ではないので大阪市民だけというのは課題があると思います。
共産党	8	賛成	私たちの案(原案)に賛成し修正案(※B)も提出⇒否決(市民投票の実施に賛成) ■会派代表として北山良三氏が回答 事故が起これば、生活と事業活動が根本的に破壊される「原発」に対して、直接意思表示をする市民の権利は認められるべき。又、市民投票の過程を通じて「原発」に関する事実を市民に正しく知らせ、「原発ゼロ」の世論を巻き起こし、実現させることが大切だと考えます。
合計	86		※A：「投票権者」について、[永住外国人も含める。16歳以上に認める]という原案中の記述を「20歳以上の日本国籍を有する者」に差し替え ※B：原案の第12条2(投票運動の規制についての一部項目)を削除

※「組織として議案の賛否を決めておき、所属議員の投票行動を拘束すること」を**会派拘束**といいます。今回、すべての会派で統一された議決内容となりました。

はじめての市民運動「私たちは市議に会ってきました」

私たちは市議に会って初めて大事なことに気づきました。それは、今まで選挙のとき、議員一人一人をよく知りもせず、政党だけをみて投票していたことを、投票すら行かなかったことを、それではダメだということ！
自分たちの希望する社会をつくるには、ちゃんと私たちの声を聴き、真剣に向き合い、行動する議員を自分の目で確かめて、考え、投票しなければいけないことを。
条例案可決のために、私たちは議員と対話する機会を求めました。そのときに得た情報をお知らせします。次回の選挙、市政相談時に参考にしてください。
今大阪市を動かしているのは、私たちが選んだこの議員たちです！
ホームページもご覧ください！！ <http://kokumintohyo.com/osaka/>

【私たち「原発」市民投票の会の紹介】

3.11の原発事故は多くの人々の価値観を揺るがしました。そんな中、今まで、市民運動や政治活動にあまりかかわったことがなかった大阪のおっちゃん、おばちゃん、パパ、ママ、学生、フリーターや大阪市外の全国から様々な人が集まって署名を集めました。そして私たちの命や暮らしを左右する原発をどうするのか、私たち一人一人に決めさせてほしいと市民投票の実施を大阪市長と大阪市議会に求めました。自分の責任で大事なことを決める権利が私たちにはあります。
住民投票をすることで、一人一人が真剣に考え、学び、話し合い、答えを責任を持って出す事ができる。「もう大事なことは、うちら自身にきめさせてほしい！」と考えて活動してきました。
(私たちは関西電力の筆頭株主である大阪市の主権者として、それを求める責任と権利があります)

■連絡先
みんなで決めよう「原発」国民投票・関西 <http://kokumintohyo.com/osaka/>
〒540-0004 大阪市中央区玉造1-14-14-3F
e-mail:gvotekansai@gmail.com 担当：西尾 今井

区	なまえ <small>会派</small>	賛否	総合評価	市民のコメント
阿倍野区	梅園 周 <small>維新</small>	否	★	事務所職員と電話で話す。「3月中は議会が忙しいので会えない。書類を届けてくれたら読む。原発関係は会派で決めている」
	木下吉信 <small>自民</small>	賛	★★★★	本人と電話で話す。「個人では住民投票すべきと考え、党内でも話しているから他の市議に会いに行きなさい」と述べる。会派主催の本グループとの意見交換会に参加。
	島田まり <small>公明</small>	否	★★★★	丁寧な対応、積極的に学ぼうという姿勢、市民の声を活かそうという姿勢が見受けられた。「市民投票に反対する理由は無い」と述べる。
	丹野壮治 <small>維新</small>	否	★	議会開催中に電話し、秘書と話す。「税理士なので確定申告の今は忙しい。4月なら会える」と採決日以降の面会日程を提示される。
住之江区	石原信幸 <small>公明</small>	否	★★	住民投票について具体的に質問され、逆に私たちが気づかされた部分があった。よく考え、勉強しようという姿勢を強く感じた。
	片山一步 <small>維新</small>	否	★	本人と話せず秘書と面会。市民投票について話をしているのに、瓦礫の話をしようとする。本人の意見をメールにて期限付きで要求したが未だ返信来ず。
	高野伸生 <small>自民</small>	賛	★★★★	折り返し本人から電話があり、市議団ですでに話を聞いているので主旨は理解していると述べる。会派主催の本グループとの意見交換会に参加。
住吉区	松崎 孔 <small>OSAKAみらい</small>	賛	★★★★	面会依頼が議会中で多忙だったが、要望書提出時20分ほど話す。私達の話を中心に聞き、「こんなに熱心に活動する市民グループは初めてだ」と述べる。会派主催の本グループとの意見交換会に参加。
	伊藤良夏 <small>維新</small>	否	★	秘書としか面会でできず市役所へ行くと、本人以外の市議同席にて面会。ただし本人は何も話さず。
	井上 浩 <small>共産</small>	賛	★★★★	話をしっかり親身に聞く。市民投票、住民自治に対して理解あり。
	河崎大樹 <small>維新</small>	否	★★	こちらの話は熱心に聞く。「個人の意見は言えないが、会派に持ち帰りしっかり話し合う」と述べる。実直な印象。会派と本グループ事務局長との面談に参加。
東住吉区	多賀谷俊史 <small>自民</small>	賛	★★★★	ベテラン議員で親切に話を聞く、持参した記事を全部コピーするなどきちんと考えてくれた。市民のために意見を受け止める姿勢を感じた。会派主催の本グループとの意見交換会に参加。
	高山 仁 <small>公明</small>	否	★★	市長の意見に賛成。市民投票やる必要はなし。個人的にも世の中が脱原発に進んでいるので、その方向に行くとの考え。
	加藤仁子 <small>自民</small>	賛	★★★★	2月上旬に面会、話はしっかり聞く。再度の面会依頼では連絡の行き違いがあった。会派主催の本グループとの意見交換会に参加。
平野区	坂井良和 <small>維新</small>	否	★	「忙しくて個人としては会えない」と事務所より電話あり。会派と本グループ事務局長との面談には参加。
	田辺信広 <small>維新</small>	否	★	最初秘書が空いている日を提示、後に本人から忙しいと断りの電話がくる。その際本人と話し「市民投票は費用対効果を検討して考えないと。」と述べる。
	辻 義隆 <small>公明</small>	否	★★	原発について大変深く勉強している。「市民投票は実現は難しいが何度でも挑戦すべき。」ほかのメンバーも何回も面会。フレンドリーな方。
	山本修子 <small>OSAKAみらい</small>	賛	★★★★	「なぜ大阪市で市民投票をやるのか？」と聞かれた。話はしっかり聞く。会派主催の本グループとの意見交換会に参加。
西成区	漆原良光 <small>公明</small>	否	★	電話で本人と話す。「党の見解が決まっていないので会っても話すことがない。」
	小川陽太 <small>共産</small>	賛	★★★★	党としても個人としても賛成。市民投票の6万筆以上集めての直接請求を重く受け止めている。
	改発康秀 <small>維新</small>	否	★★	「平野区の代表として市民の声を聞くことは大事と考えている。」こちらの話を聞くのみだが原発に対する理解は深い。40分くらい話す。
	杉村幸太郎 <small>維新</small>	否	★	「交通関係の担当で忙しくて会えない。原発のことは自分も子供がいるので、僕らの問題としてとらえている。原発関連の資料はほしい。」
	田中ひろき <small>OSAKAみらい</small>	賛	★★★★	他のメンバーからも働きかけをしていた。私達のグループのやり方の一部についてご意見があり、その話が中心となった。市民投票の活動には理解を示す。会派主催の本グループとの意見交換会に参加。
西成区	新田 孝 <small>自民</small>	賛	★★★★	電話で本人と話す。「党の方針を見てもらえばいい。」会派主催の本グループとの意見交換会に参加。
	尾上康雄 <small>共産</small>	賛	★★★★	原発市民投票に賛成。5億円かけてもやる意義がある。私たちの質問に市議の立場からきちんと答え、意見もくれた。
	小林道弘 <small>OSAKAみらい</small>	賛	★★★★	会派やほかの議員の目よりも市民の声、地元密着を大切にしているのが伝わった。オープンな方。公開討論会に唯一参加。市民投票についてよく理解し本当に真剣に考えてくれる。会派主催の本グループとの意見交換会に参加。
	辻 淳子 <small>維新</small>	否	★	本人と電話で話す。「会派で決まったら話を聞いてもおなじかなあ。」
	前田修身 <small>公明</small>	否	★	本人と電話で話す。「3月4月は忙しくて約束できない。市議団を通して代表に話してほしい。私達一枚岩ですから。個人の意見は言えない。」
柳本 顕 <small>自民</small>	賛	★★★★	話はしっかり聞く。市民目線で共感できた。5億円費用についても「選挙と同時にやればより削減できるはず」と述べる。会派主催の本グループとの意見交換会に参加。	

※これはあくまで今回の件について議員回りをした市民が事実に基づいて判断したものです。絶対的な評価ではありません。